

CITIZEN

Windows Graphic Loader for Label Printers

ユーザーズマニュアル

Version 1.0.5.0

シチズン・システムズ株式会社

商標・版權

CITIZEN は、シチズン時計株式会社の登録商標です。

Windows®は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名及び商品名は各社の商標または登録商標です。

本マニュアルの内容については、将来予告なしに変更する事があります。

改版履歴

日付	バージョン	内容
2017/08/23	1.0.0.0	初版
2017/09/25	1.0.1.0	USB2.0 High-Speed 通信の制限事項を削除 画面キャプチャの修正
2018/01/24	1.0.2.0	1.0.2.0 のビルドに合わせてバージョン番号を更新
2018/08/31	1.0.3.0	エミュレーション、印刷解像度の設定方法を修正（8 頁） I/F に Bluetooth を追加（12 頁） イメージサイズの単位に dot を追加（13 頁）
2019/05/29	1.0.4.0	モジュールのドライブ構成に EPI2 を追加（5 頁） エミュレーションの選択に EPI2 を追加（8 頁） エミュレーションごとのファイル名規則を追加（14 頁） EPI2 エミュレーションの印刷コマンド例を追加（19 頁）
2019/11/01	1.0.5.0	1.0.5.0 のビルドに合わせてバージョン番号を更新

目次

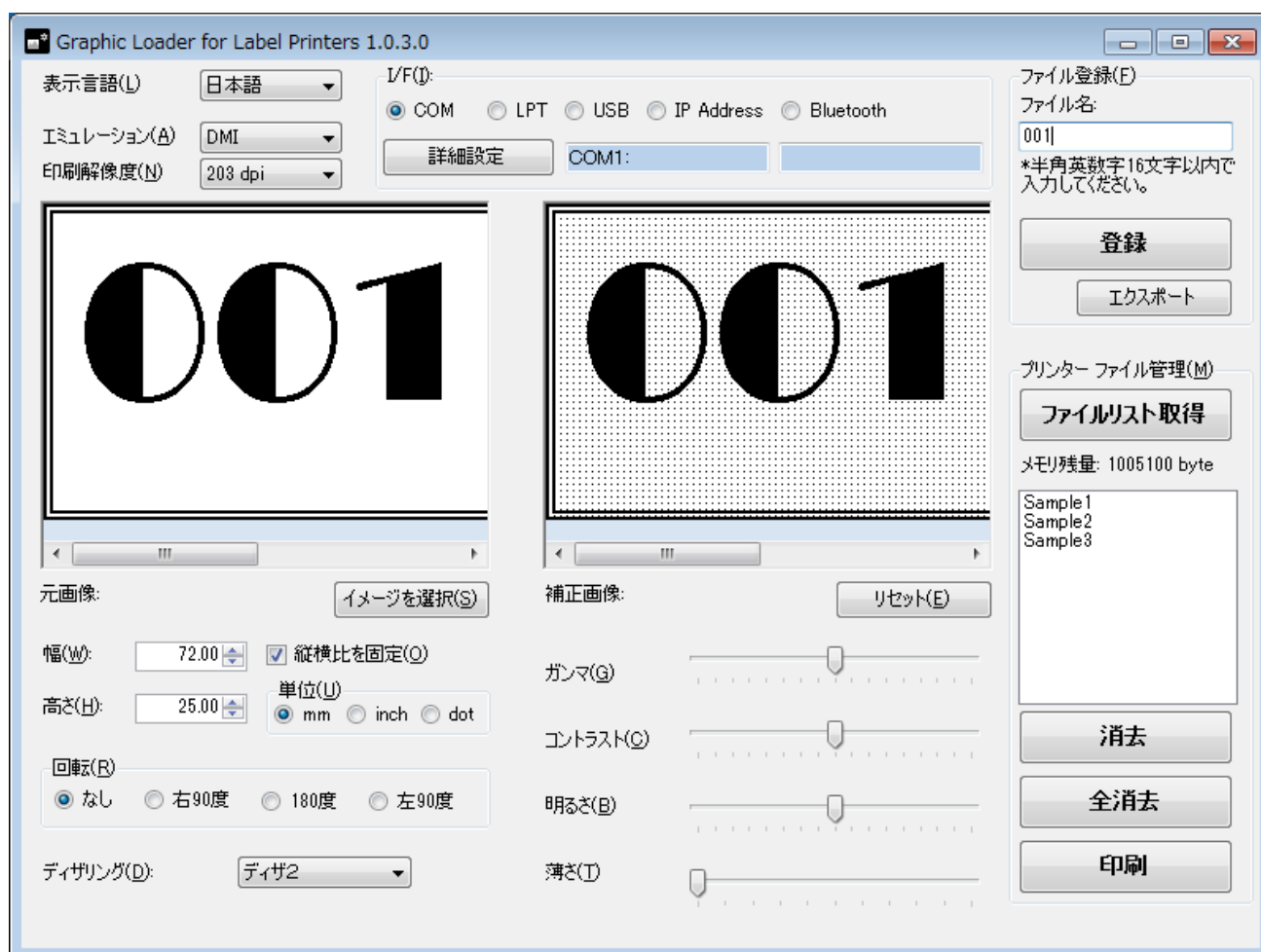
1. はじめに	5
本ユーティリティの概要	5
システム要件と言語	6
インストール	7
ご使用前の準備	8
インターフェースの詳細設定	9
2. ファイル登録	13
基本的な使い方	13
3. プリンターファイル管理	16
ファイルリスト取得	16
ファイル消去	17
テスト印刷	18

1. はじめに

本ユーティリティの概要

本ユーティリティは、Windows コンピュータで CITIZEN CL-S シリーズと CL-E シリーズのフラッシュメモリに、グラフィックファイルの登録を行うためのアプリケーションです。また、その他、登録済みグラフィックファイルのリスト閲覧、消去、テスト印刷の機能を提供します。

※メモリモジュールの構成は、エミュレーションによって異なります。本ユーティリティが参照するメモリモジュールは、下表の「フラッシュメモリ」モジュールです。

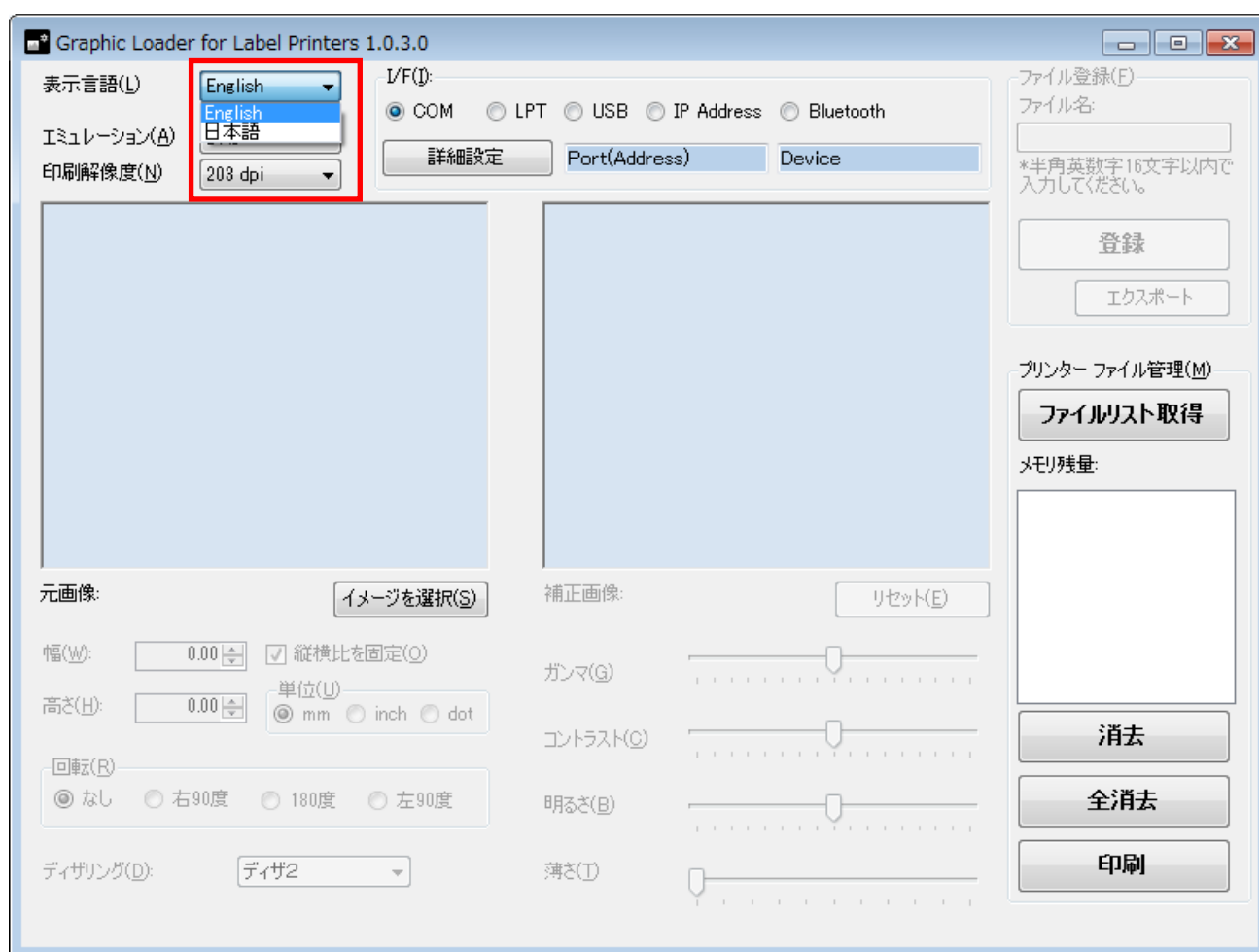


モジュール エミュレーション	RAM	フラッシュメモリ
DMI	D	G
ZPI2	R	E
EPI2	—	—

システム要件と言語

本ユーティリティを使用する推奨環境は、Windows 7 Professional SP1 と同等かそれ以上のオペレーティングシステムです。本ユーティリティは、オペレーティングシステムの言語を自動的に認識し、日本語、それ以外の言語を英語で表示します。また、手動で言語を切り替えることも可能です。

※言語切り替えは、アプリケーションの再起動が必要となります。

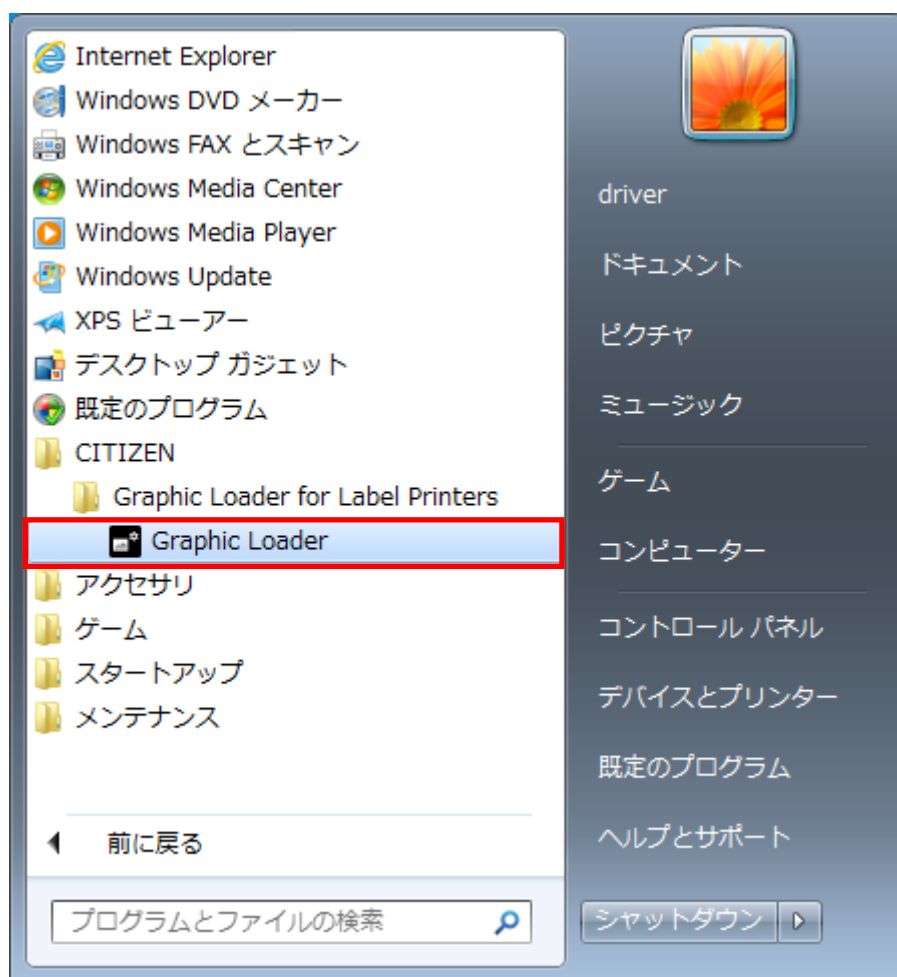


本ユーティリティは、以下の環境で動作が確認されています。

- Windows 10 x64, x86
- Windows 8.1 x64
- Windows 7 Professional SP1 x86

インストール

本ユーティリティは、インストーラー形式で配布されます。インストーラーをクリックすると、インストール画面が起動しますので、画面に従ってインストールを実施してください。インストールが正常に行われると、スタートメニューにショートカットが作成されます。



ご使用前の準備

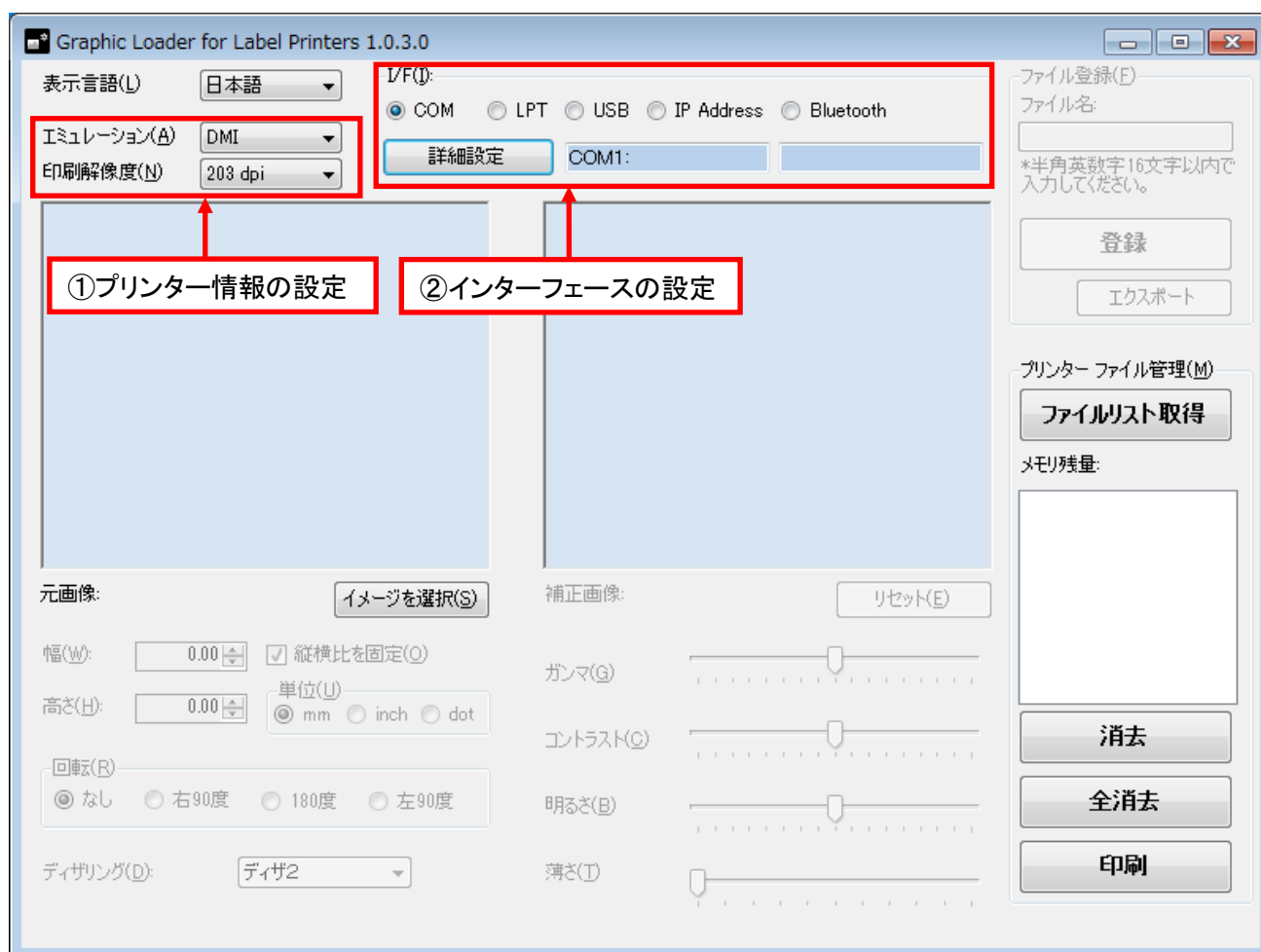
①: ご使用されるプリンターの”エミュレーション”、”印刷解像度”を設定してください。

“エミュレーション”は、[DMI]、[ZPI2]、または[EPI2]を選択できます。

②: プリンターとの通信インターフェースを選択し、“詳細設定”から接続先設定を行ってください。

※詳細は「インターフェースの詳細設定」を参照してください。

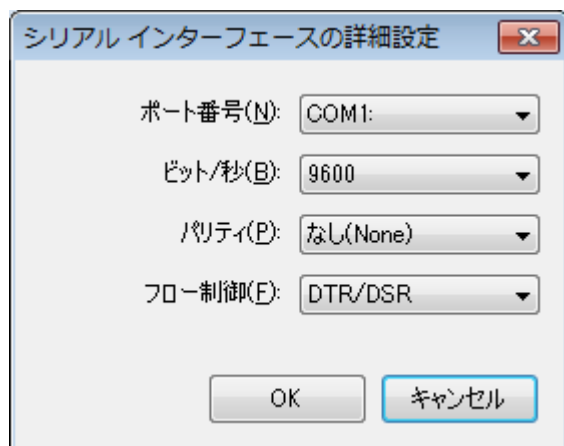
③: 使用目的に応じて、「2. ファイル登録」、「3. プリンターファイル管理」の操作を行ってください。



インターフェースの詳細設定

インターフェースの詳細設定を行います。

■シリアルインターフェースの詳細設定



ポート番号:

ポート番号を選択します。

ビット/秒:

ボーレートを選択します。[2400]～[115200]より選択します。

パリティ:

パリティを選択します。[なし(None)]、[奇数(Odd)]、[偶数(Even)] より選択します。

フロー制御:

フロー制御を選択します。[DTR/DSR]、[Xon / Xoff] より選択します。

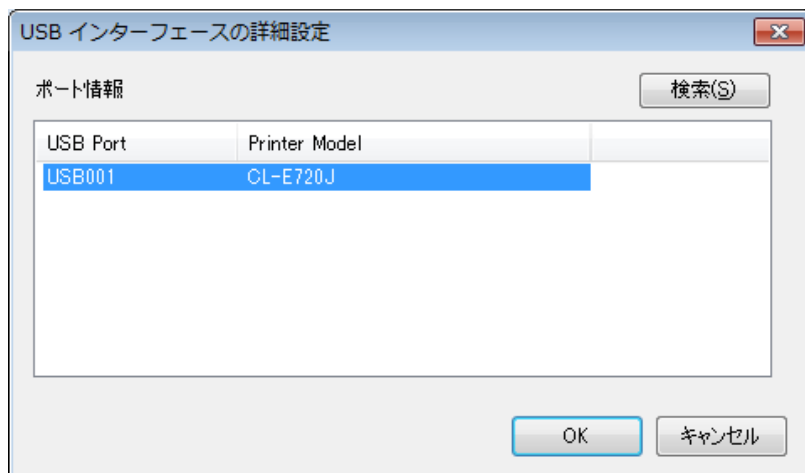
■パラレルインターフェースの詳細設定



ポート番号:

ポート番号を選択します。

■USB インターフェースの詳細設定



ポート情報:

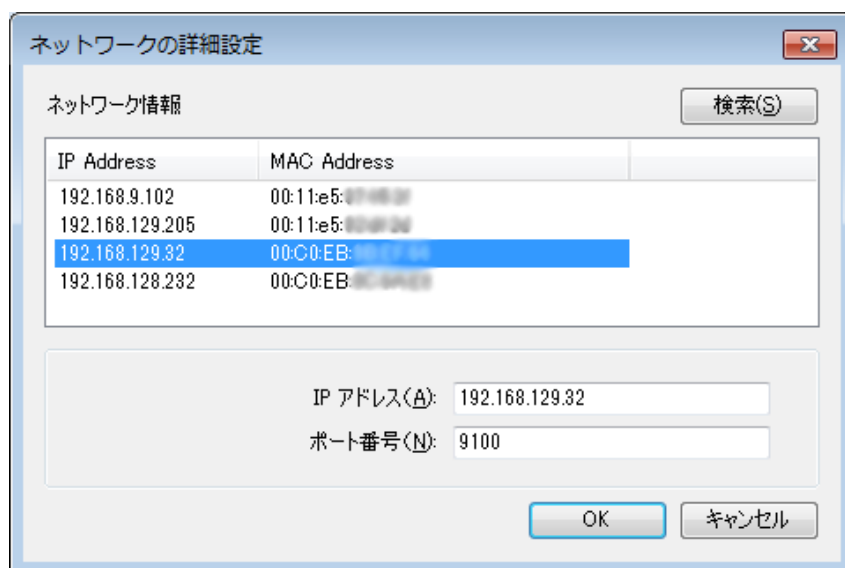
ポート情報を表示します。

ポート情報をクリックしてポート番号を選択できます。

「検索」ボタン:

USB 接続されているプリンターを検索して表示します。

■ネットワークの詳細設定



ネットワーク情報:

ネットワーク情報を表示します。

ネットワーク情報をクリックして IP アドレスを選択できます。

「検索」ボタン:

ネットワークプリンターを検索して表示します。

IP アドレス:

リストからポートを選択すると、IP アドレスが自動的に挿入されます。

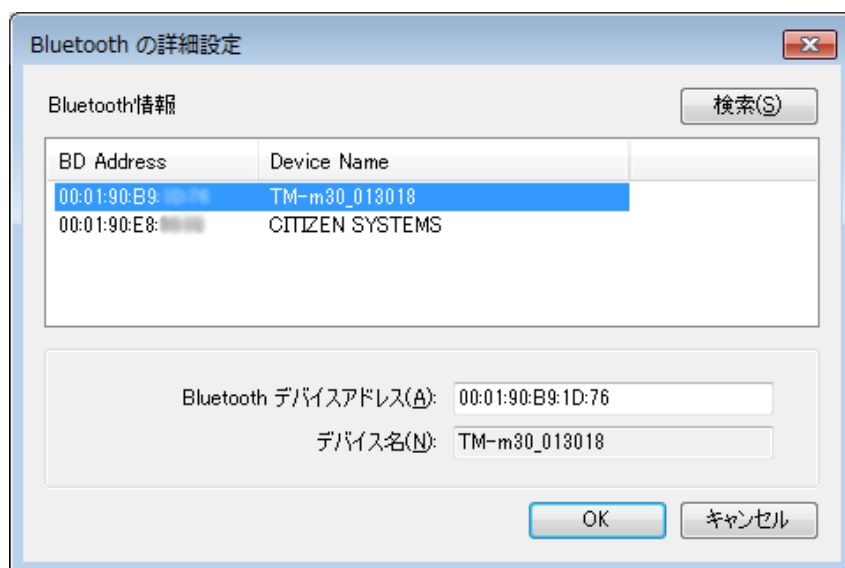
異なるアドレスを例外的に設定する場合にのみ、IP アドレスを入力してください。

ポート番号:

ポート番号をタイプします。デフォルトは 9100 です。

例外的に別のポート番号を設定する場合にのみ、ポート番号を入力してください。

■ Bluetooth の詳細設定



Bluetooth 情報:

Bluetooth 情報を表示します。

Bluetooth 情報をクリックして、Bluetooth のデバイスアドレスを選択できます。

「検索」ボタン:

Bluetooth 通信が可能なプリンターを検索して表示します。

Bluetooth デバイスアドレス:

リストからデバイスを選択すると、Bluetooth アドレスが自動的に挿入されます。

例外的に別のアドレスを設定する場合にのみ、Bluetooth アドレスを入力してください。

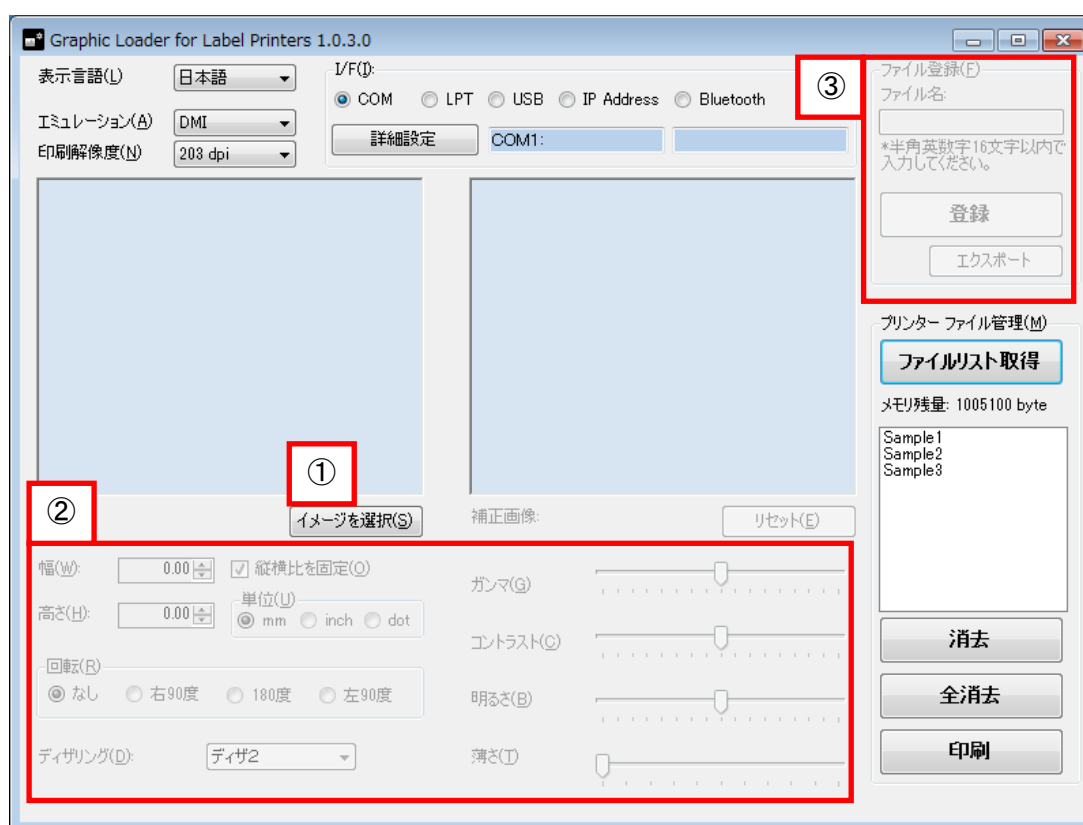
デバイス名:

リストで選択したデバイスのデバイス名を表示します。

2. ファイル登録

プリンターのフラッシュメモリにビットマップ形式でグラフィックファイルを登録します。登録可能なビットマップ形式は、BMP/GIF/EXIF/JPG/PNG/TIFF です。また、エクスポート機能により、補正画像に表示されているグラフィックイメージを BMP 形式でパソコン上に保存することができます。

基本的な使い方



- ①: 「イメージを選択」ボタンをクリックすると「イメージの選択」ダイアログが表示されますので、登録するイメージを選択してください。
- ②: イメージのサイズ調整や、補正を行います。
 - ・イメージの「幅」、「高さ」を変更します。
 - ※「縦横比を固定」にチェックが有る場合、縦横の比率を変えずに変更します。
 - ※イメージサイズの単位を、mm もしくは、inch、dot から指定できます。
 - ・「回転」でイメージを回転させることができます。
 - ・「ディザ」でイメージの減色方法を指定します。
 - ・「ガンマ」、「コントラスト」、「明るさ」、「薄さ(黒を間引く)」スライダーでイメージを補正します。
 - ・「リセット」ボタンで、イメージのサイズ、回転、ディザ、補正を、元に戻すことができます。

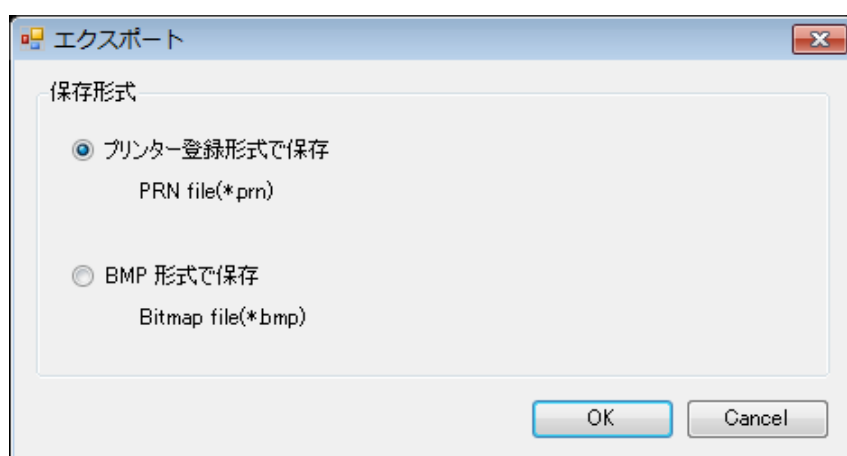
- ③:「登録」ボタンをクリックすると「ファイル名」で指定された名称で、プリンターにグラフィックファイルを登録します。「ファイル名」は、選択したエミュレーションによって、以下の形式で入力してください。

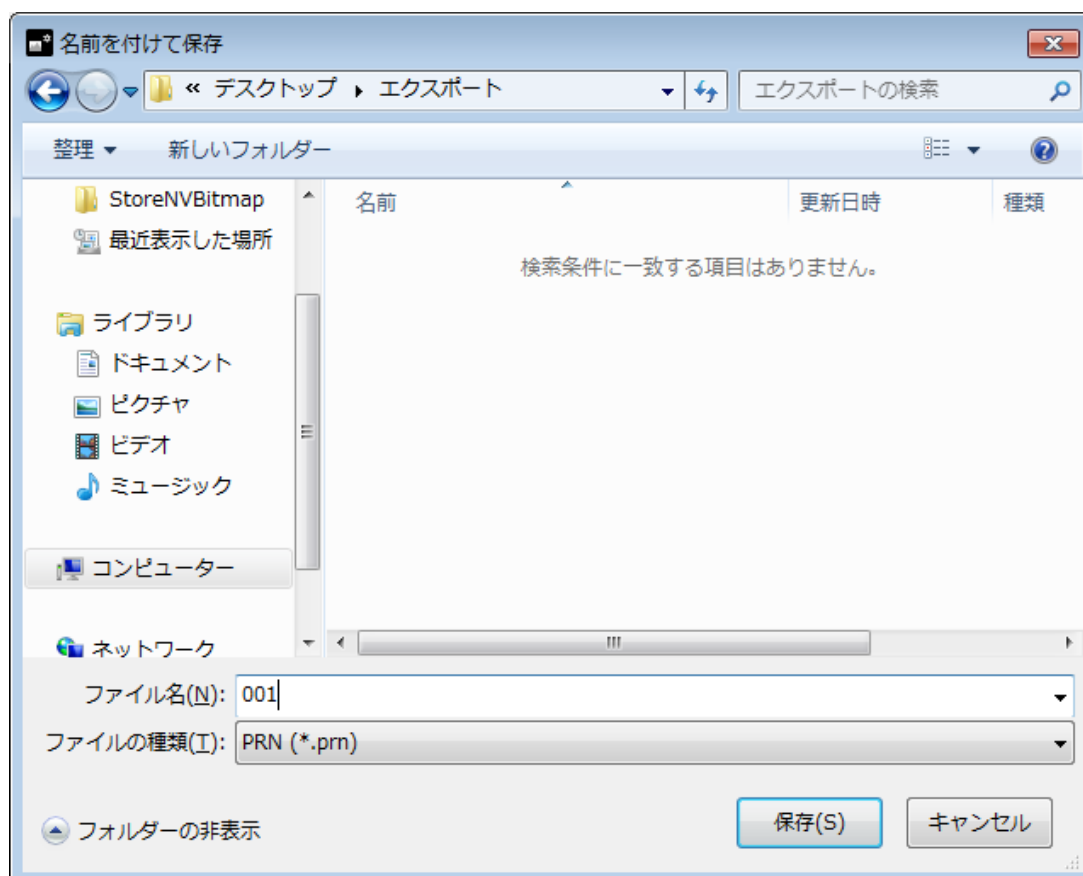
DMI: 半角英数字 16 文字以内

ZPI2: 半角英数字 8 文字以内

EPI2: 半角英数字 8 文字以内

エクスポート機能により、補正画像のデータをファイルへ保存することができます。「エクスポート」ボタンをクリックすると、保存形式の選択画面が表示されますので、保存形式を「プリンター登録形式」と「BMP 形式」から選択してください。保存形式を選択後、「名前を付けて保存」ダイアログが表示されますので、保存場所を指定してください。



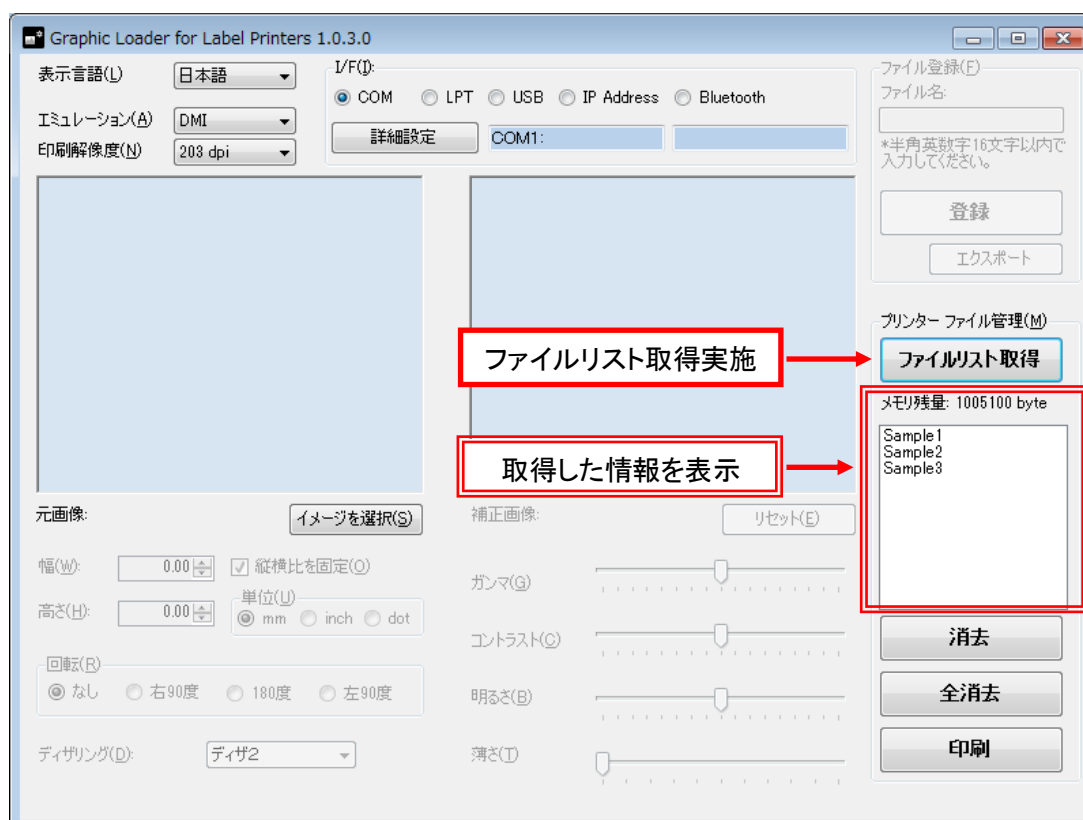


3. プリンターファイル管理

プリンターに登録しているグラフィックファイルの管理機能です。登録済みグラフィックファイルのリスト取得、消去、印刷の操作を行うことができます。

ファイルリスト取得

「ファイルリスト取得」ボタンをクリックすることにより、プリンターから登録済みグラフィックファイルのリストと、プリンターのフラッシュメモリの空き容量を取得し表示します。

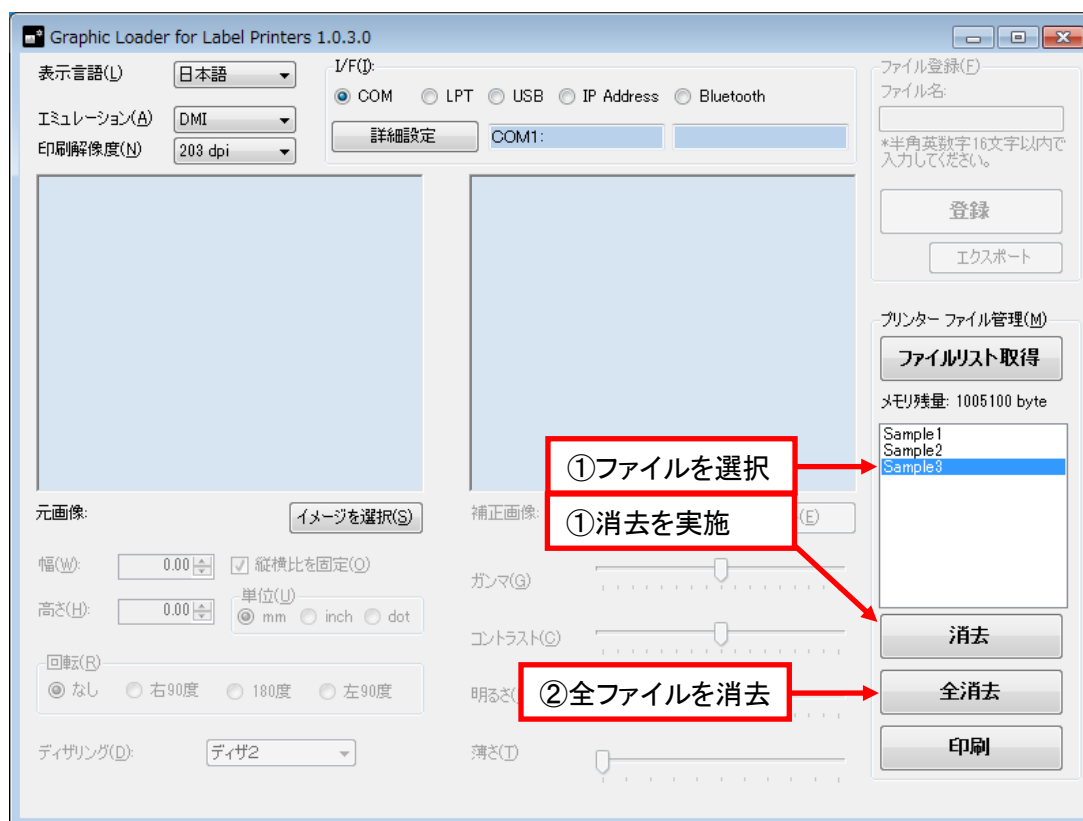


ファイル消去

プリンターに登録しているグラフィックファイルを消去します。グラフィックファイルの消去は、ファイル名を指定して個別に消去する方法と、一括で全てのグラフィックファイルを消去する方法があります。

※ファイル消去を行う場合は「ファイルリスト取得」を実施して、最新の登録状況を取得しておいてください。

※一度に複数ファイルを消去する場合、数分以上の時間がかかる場合があります。



①「消去」ボタン:

ファイルリストで選択されたグラフィックファイルを消去します。複数のファイルを選択可能です。

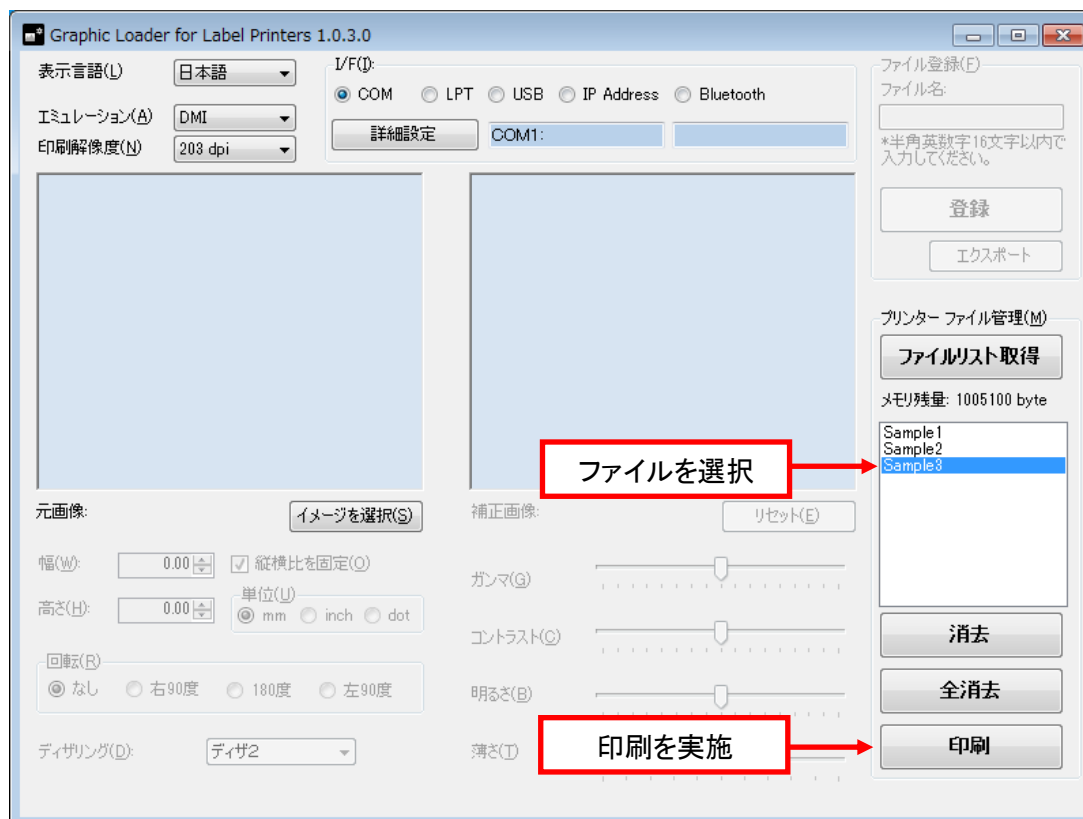
②「全消去」ボタン:

ファイルリストに表示されている全てのグラフィックファイルを消去します。「ファイルリスト取得」を実施していない、または、登録件数が0件の場合は、実施できません。

テスト印刷

プリンターに登録しているグラフィックファイルをテスト印刷します。ファイルリストから印刷するファイルを選択し、「印刷」ボタンをクリックすることで、印刷が行われます。

※テスト印刷を行う場合は「ファイルリスト取得」を実施して、最新の登録状況を取得しておいてください。



印刷コマンド例

DMI エミュレーション : ファイル名「Sample」を印刷したときの例。

[02][1B]G0	コマンドセットを「DMI / DMW」に指定
[02]L	ラベルフォーマットモード開始
D11	ピクセルサイズを設定
1Y1100000000000Sample	“Sample”ファイルの印刷指定
Q0001	印刷枚数「1」を指定
E	ラベルフォーマットモードの終了、印刷

ZPI2 エミュレーション : ファイル名「SAMPLE.GRF」を印刷したときの例。

^XA	ラベルフォーマットモード開始
^XGE:SAMPLE.GRF,1,1^FS	“SAMPLE.GRF”ファイルの印刷指定
^XZ	ラベルフォーマットモードの終了、印刷

EPI2 エミュレーション : ファイル名「Sample」を印刷したときの例。

N	イメージバッファのクリア
GG0,0"Sample"	"Sample"ファイルの印刷指定
P1	印刷枚数「1」を指定して印刷実行

Windows Graphic Loader for Label Printers ユーザーズマニュアル

2019/11/01 Ver.1.0.5.0 用

シチズン・システムズ株式会社

<http://www.citizen-systems.co.jp/>